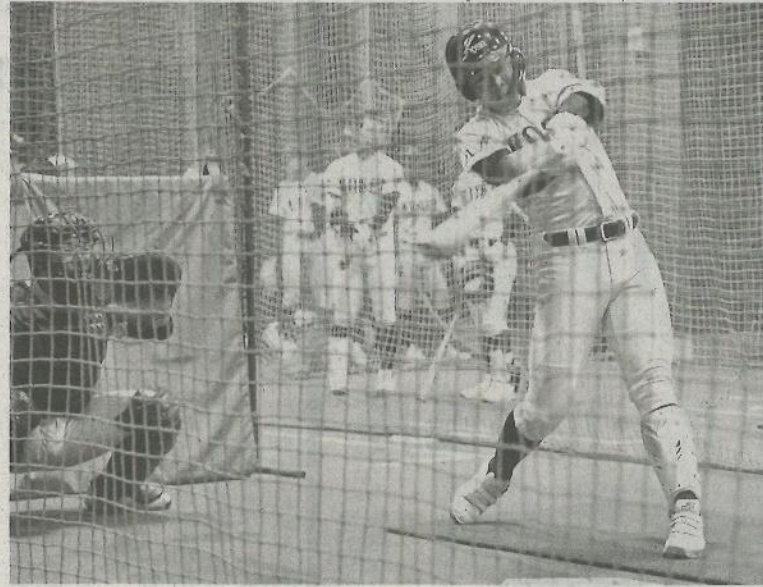


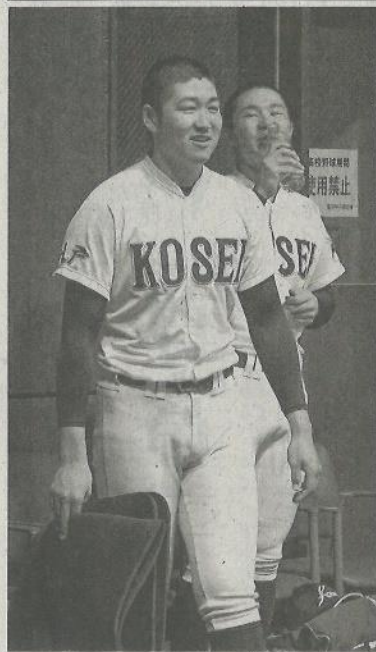
センバツ 2日連続順延

打撃練習で快音を響かせる八学光星の中軸・山本優大
24日、甲子園球場屋内練習場



光星きょう試合

選抜高校野球大会第6日は24日、甲子園球場で1、2回戦の計3試合が行われる予定だったが、前日に続いて天候不良のため、25日に順延された。2日連続の順延は2010年大会以来、14年ぶり。第2試合の八学光星―星稜(石川)は25日午前11時半開始予定となる。以降は



室内練習で笑顔を見せる八学光星の洗平(手前)

1日ずつ日程をずらし、広陵(広島)―青森山田の2回戦を含む第8日は27日の予定。準決勝翌日に設けていた休養日をなくし、31日の決勝はそのままの日程で実施する。試合開始予定時間にいずれも変更はない。24日は甲子園の室内練習場で、試合予定だった6校が練習

八学光星ナインは午前9時から約1時間半、近距離の打撃練習や投球練習で軽めに調整した。

仲井宗基監督は再びの延期について「できるだけ良い環境の中でプレーできるように配慮だろう」と受け止め、「星稜は(能登半島地震の)被災地の思いも背負い、非常にハードなゲームになると思うが、自分たちの力を最大限発揮することに集中する」と強調した。

エース左腕の洗平比呂は「(順延決定は)ユニホームを着て気合を入れた後だったので、残念な気持ちもある」としつつ、「自分は初戦で150球投げたので、ある程度プラスになる。チームとしても雨の中でやるより良かったと思う」と冷静に語った。

一方、青森山田はこの日、兵庫県淡路市の室内練習場で約2時間の練習を行った。

(桑田友人)